

令和4年度第2回天童市総合教育会議

日 時 令和5年3月23日（木）
午前10時45分開会
場 所 市役所3階会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協議・調整事項

- (1) 教育大綱に基づく令和5年度の教育方針について
- (2) 市立図書館のリノベーションについて

4 閉 会

令和5年度の教育方針

天童市教育委員会 教育長 相澤 一彦

1 基底とする見方・考え方

ともに明日をひらく、まちづくりとしての教育

よりよい児童生徒を育てることは、同時によりよい市民を育てることにつながっていく。児童生徒は、自分が大切にされることで、自己存在（有用）感を持ち、意欲的に学習や諸活動に取り組み、また周りや環境・郷土を大切にする。その際、自ら課題を見つけ、深く思考し、論理的に表現する知性を育てることや、心身の健康を保持して人間性の伸長に努めることを通し、よき市民としての成長を促したい。

2 一人ひとりを大切にする教育（「共生」）

- (1) 生徒理解、教育的ニーズに応じた教育の充実
特別支援教育の視点を核に、インクルーシブ教育を推進
- (2) たくましくかかわる力を教育活動全体を通して育て、いじめや不登校等の課題の解決を図る
SSW、SC、担当各課等連携した指導の一層の充実
- (3) 関わる力の見極めと効果的な支援の研究と実践
集団アセスメント（ハイパーQU）の実施と支援

学校生活の満足感や安心感を高め、不登校数の減少を図る教育

3 深い学びにつながる知性を育む教育（「自立」）

- (1) 学びの視点（本市の課題）を明確にした学力形成
物事を深く思考し、論理的に伝える力の育成
- (2) 多様な情報をもとに、個別に、協働で学ぶ授業を創造する
ICT機器の習熟と授業力の向上を保障する体制や研修

- (3) 学力の中核をなす言語活用力と開かれた英語力の向上
カリキュラムマネジメントと英語力向上施策の効果を高める

**多様な情報を活用し、深く思考し、論理的に伝える学力の向上と、
開かれた視野を創ることを通し学力の向上を果たす教育**

4 人づくりの土壌を整える施策を推進（「創造」）

- (1) 地域の中の学校を豊かに創造する
地域活動補助事業、ひと・もの・こと活用事業の活用及び「学校運営協議会」（CS）設置（導入）の検討、環境整備
- (2) 学校施設の長寿命化及び安全で快適な学習環境の整備を推進する
トイレ改修事業、照明設備LED化事業、防犯カメラ等整備事業、熱中症予防対策事業等の推進
- (3) 部活動の地域移行の推進を通し、課題（生徒にとって望ましいスポーツや芸術文化活動の推進、働き方改革の推進）の解決を図る
「検討委員会」を設置し、計画的、組織的に取り組む
- (4) 市立図書館、各小中学校図書の実と読書活動の推進
市立図書館リノベーション事業と図書の配備の充実
- (5) 安全安心な学校給食の推進と施設設備の充実
安全・安心な給食食材等の調達・管理と炊飯施設・アレルギー調理室整備事業の円滑な推進

**地域、天童の学校としての充実等生涯にわたる教育の土壌を育む
施策を確実に推進する**

天童市立図書館リノベーション事業

1 既存施設等概要

- (1) 開館 昭和58年7月1日
- (2) 敷地面積 7,670㎡
- (3) 建築面積 1,873㎡ (延床面積 1,967㎡)
- (4) 構造 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)、地上2階
- (5) 総工事費 460,000千円
- (6) 施設内容
 - 【1階】開架室 (818㎡)、事務室 (143㎡)、会議室・歴史相談室 (142㎡)、ホール等 (127㎡)
 - 【2階】積載書庫 (2層) (341㎡)、機械室 (80㎡)、倉庫 (89㎡)
- (7) 蔵書 209,767冊 (開架…約8万冊、閉架…約12万冊)

2 経緯と趣旨

市立図書館は、昭和58年の開館から39年が経過していることから、設備などの老朽化が進み、計画的な修繕が必要になっている。

また、図書館を取り巻く状況も、ICTの急速な進化や、新型コロナウイルスによる新たな生活様式への取組みに加え、近年は、課題解決や滞在・交流型を掲げる図書館が各地で注目を集め、ほかにも、まちの賑わいづくりの中核施設として図書館が位置付けられるケースもあり、これまでの図書館が担ってきた資料の収集や保存、整理、提供というものから、さらに踏み込んだ関わり方が求められている。

当市の図書館は、建物の構造自体としては、鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) のため、今後30年程度の耐久性はあると想定され、さらに、昭和62年に日本図書館協会による建築賞・優秀賞を受賞し、長年、市民に親しまれ、育まれてきた施設でもあることから、現在の図書館の良い部分は生かしつつ、より利用しやすくなるための機能や設備を充実させ、さらなる活性化や新たな付加価値の創造を実現するための「リノベーション」を実施する。

3 今後のスケジュール (案)

年度	内容	指定管理
令和5	基本計画策定	1年目
令和6	基本設計・実施設計	2年目
令和7	改修工事 (1期: 施設設備、書架等)	3年目
令和8	改修工事 (2期: 外構)、開館準備、開館	1年目

4 基本理念（案）

**市民一人ひとりの人生につながり寄り添える図書館
～家以外の居場所として人々の暮らしに溶け込み生活を豊かにする場～**

図書館とは、人と本を結びつけるだけではなく、人と人をつなぎ、新たなコミュニティを生み出す場である。

人と本、人と人が「図書館」という場を通してゆるやかにつながり、それぞれの人生や生活を豊かにすることのできる、居心地が良く、ぬくもりを感じるような図書館を目指す。

5 基本理念を実現させるための方針（案）

- (1) 子育て世代に寄り添う空間づくり
- (2) つながりや交流を生み出す空間づくり
- (3) 様々な学びの場としての空間づくり
- (4) 市の魅力を知り、郷土への愛着や誇りを育む空間づくり
- (5) 近隣施設と連携した新たな賑わいを創出する空間づくり

6 リノベーション内容（案）

- ・冷暖房や照明などの設備の更新と屋根や外壁などの塗装・補修。
- ・ICT化。（自動貸出・返却システム、電子図書、音楽配信サービス、Wi-Fi）
- ・蔵書の拡充。（図書配架、幼児スペースの見直しを含む）
- ・学習スペースや読書スペースの拡充と飲食スペースの新設。
- ・美術館など周辺施設との連携。（駐車場を含めたエリア全体の見直し）

7 令和5年度事業内容

リノベーションの方向性を示す「基本計画」の策定を行う。

【事業費】 23,523千円

（内訳） 謝礼	280千円	（策定委員会委員10名×5回）
旅費	710千円	（先進地視察、策定委員会視察）
消耗品費	50千円	（資料コピー代）
食糧費	18千円	（土産代3箇所、策定委員会お茶代）
通信運搬費	8千円	（案内、資料送付代）
委託料	22,457千円	
（委託料内訳）		
・基本計画策定支援業務	19,426千円	
・石綿含有建材調査業務	2,453千円	
・設計図書電子化業務	578千円	

利用状況と指標

1 天童市立図書館の利用状況について

項目 \ 年度	昭和 59年度	平成 5年度	平成 15年度	平成 25年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
入館者数 (人)	—	94,883	116,409	148,044	138,961	81,259	107,921
利用者数 (人)	82,523	35,693	52,922	63,248	56,709	42,122	50,256
総貸出冊数 (冊)	156,597	151,790	264,574	295,398	266,604	216,332	246,832
蔵書数 (冊)	54,851	116,259	172,590	206,003	210,393	210,589	209,767
回転率 (%)	285.5	130.6	153.3	143.4	126.7	102.7	117.7

2 県内近隣図書館との比較 (R4. 3. 31)

令和3年度	東根市	山形市	天童市
蔵書数	約 160,000 冊	403,365 冊	209,767 冊
人口1人当たりの蔵書数	3.4 冊	1.6 冊	3.4 冊
人口	47,576 人	244,584 人	61,293 人

3 『日本図書館年間 2022』 より

人口区分	人口5万未満の市区	人口6万未満の市区	人口8万未満の市区
人口に対する蔵書冊数 (平均)	215 千冊	245 千冊	291 千冊
	80 市区平均	77 市区平均	109 市区平均

※天童市人口…令和4年10月末現在は61,156人だが、令和22年(2040年)には55,283人に減少すると推計。
(国立社会保障・人口問題研究所)

4 日本図書館協会より

人口区分	1～3万人	3～10万人	10～30万人
延床面積	1,591 m ²	2,937 m ²	5,437 m ²
開架冊数	73,657 冊	153,181 冊	335,203 冊

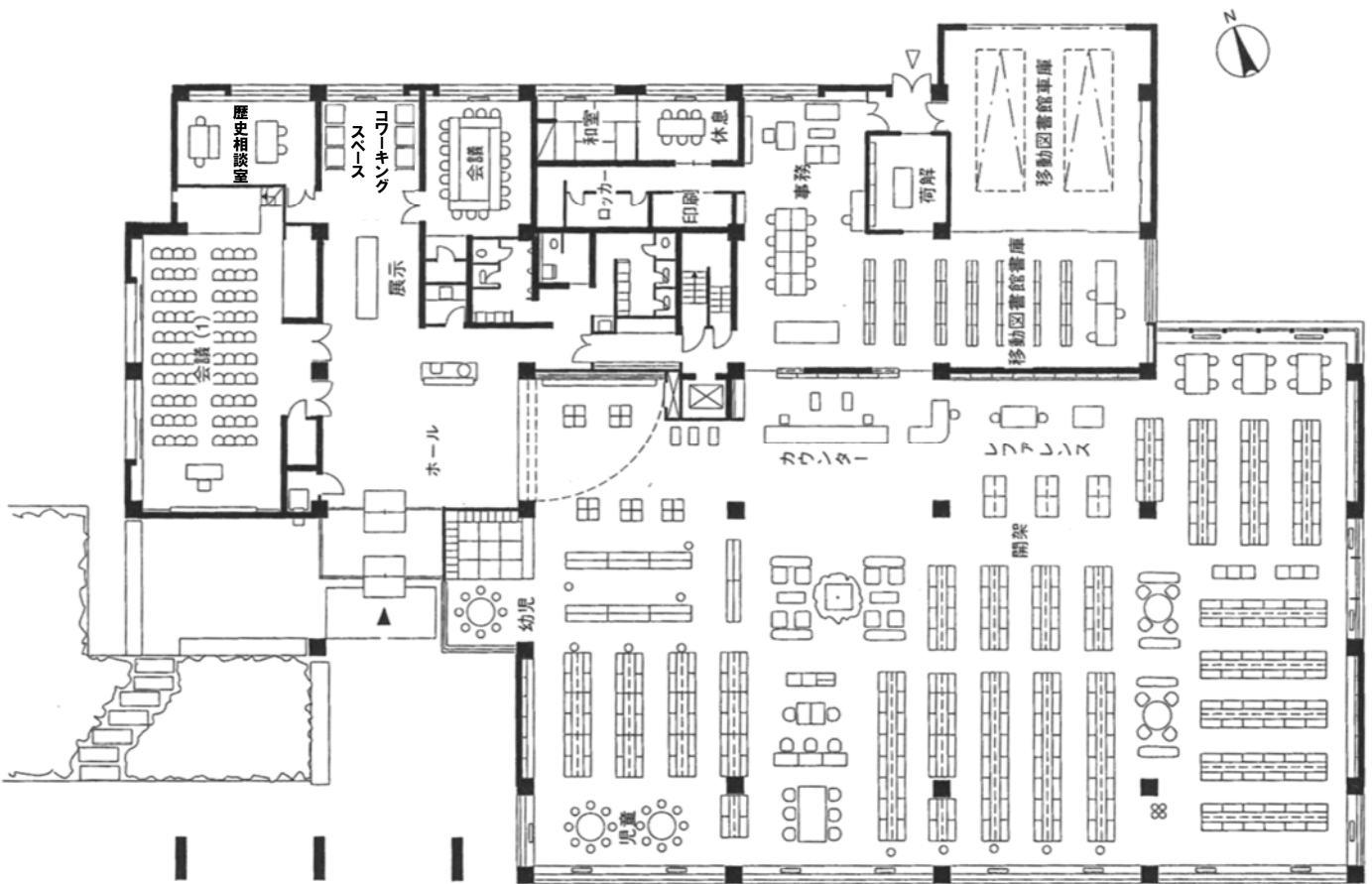
※全国の市町村の公共図書館のうち、各人口区分において、貸出冊数の多い上位10%の図書館の平均値。

天童市立図書館現況図

○ 断面図



○ 平面図



天童市立図書館周辺図

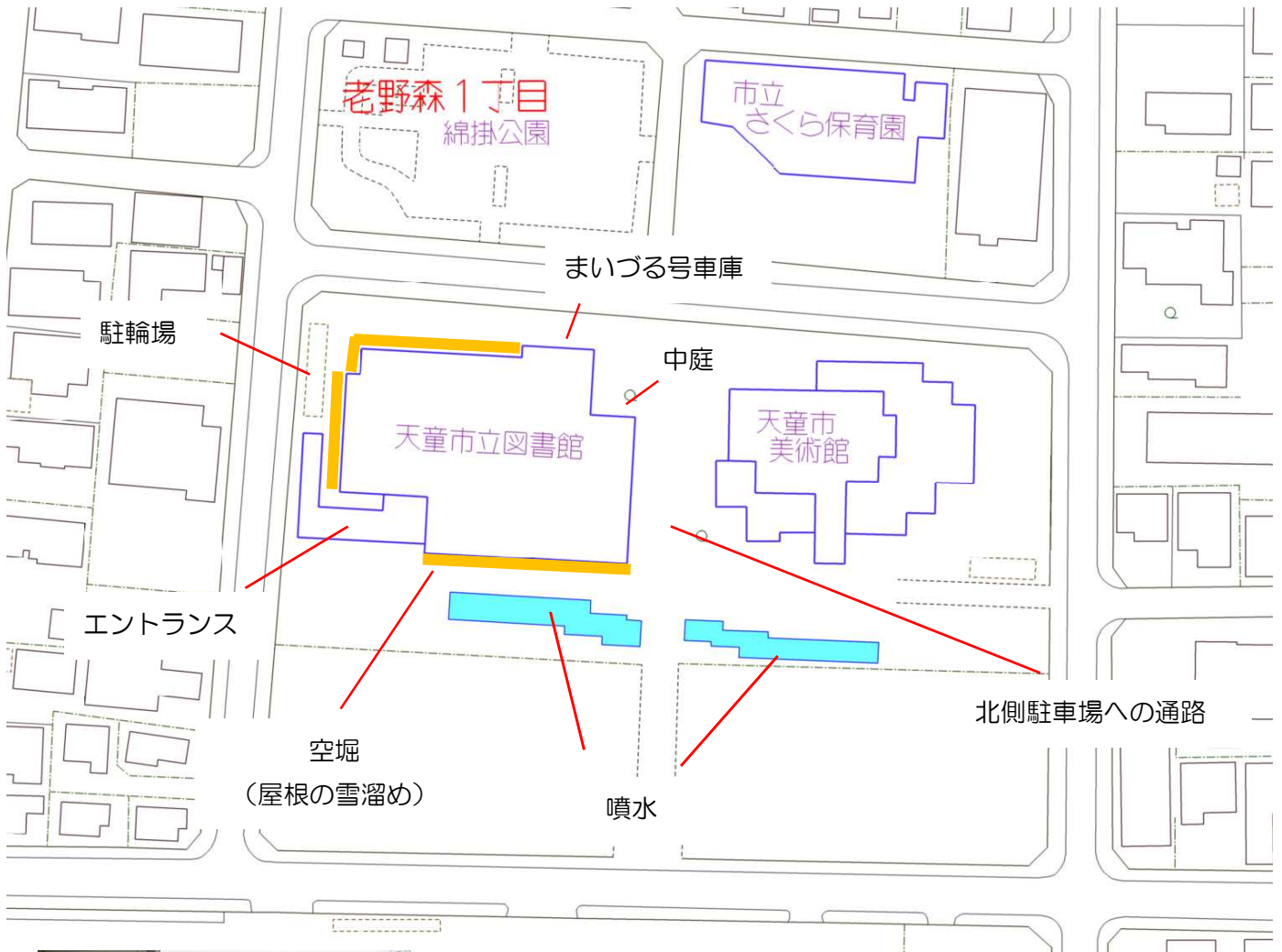
エントランス



まいづる号車庫



中庭



空堀



噴水



北側駐車場への通路